



1枚に切り取る医療界の2週間

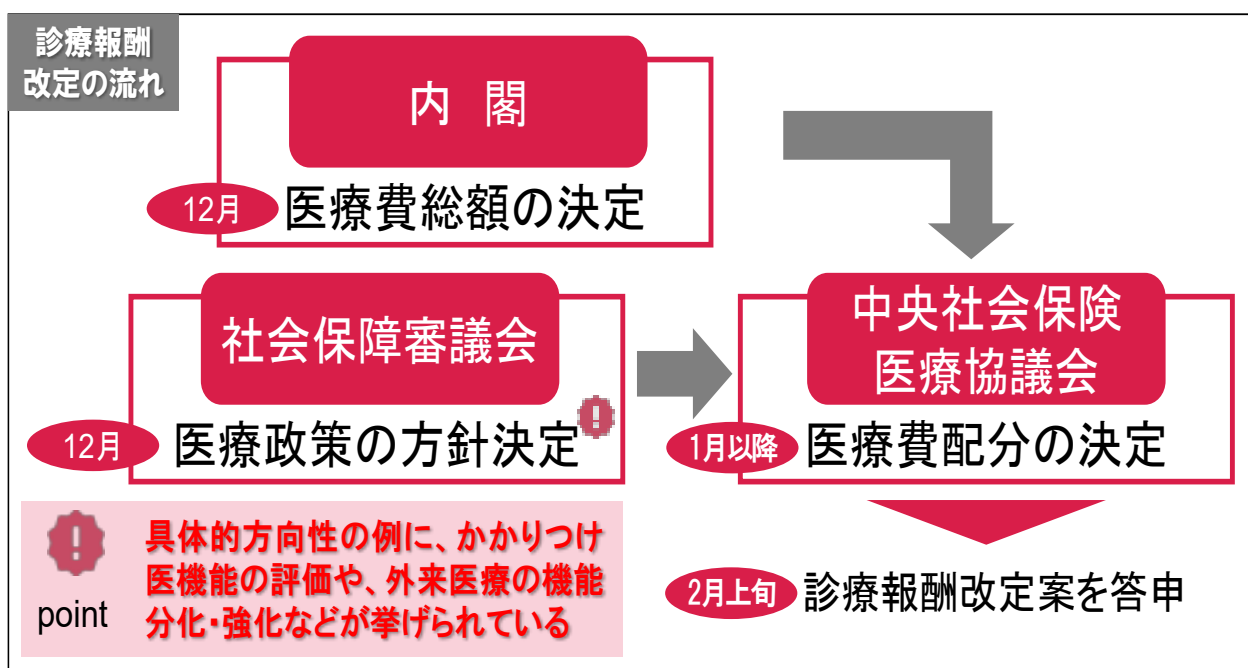
Medical management support by astellas

2019年10月14日号

## かかりつけ医機能の充実・評価、さらに検討の方向 ~2020年度診療報酬改定

《背景》 2020年度診療報酬改定に向けた議論が具体化する。厚生労働省の社会保障審議会で、改定の基本方針に関する検討が始まり、中央社会保険医療協議会では、各分野の現状・課題、論点の整理や個別項目についての議論を経て、年明けから具体的な診療報酬点数の設定に係る調査・審議を行う運び。

《解説》 12月ごろ決定される予定の2020年度診療報酬改定の基本方針では、「改定に当たっての基本認識」と「改定の基本的視点と具体的方向性」が示される見通しです。基本認識については、検討例の中に、かかりつけ医機能の充実、患者への情報提供や相談・支援の充実などが挙げられています。具体的方向性の例の中には、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局の機能の評価や、外来医療の機能分化・強化、質の高い在宅医療・訪問看護の確保などが挙げられました。



(厚生労働省の資料に基づいて作成)

《発行》

アステラス製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町2-5-1 〒103-8411

《内容についてのお問い合わせ先》

医療総研株式会社 (担当: 田中 勝志)

東京都文京区後楽2-3-4第二松屋ビル 〒112-0004  
TEL. 03-3817-8867